

『神陵文庫』の発刊について

財団法人三高自昭会は、その事業の一つに「旧制高等学校教育の理念とその成果に関する調査・研究」を掲げています。これは新三高会館の開設を機に、その後各界で活躍され、亦されている同窓会々員にスポットをあてて、旧制高等学校教育をうけた者の軌跡の一面を明らかにしようとしたものに他なりません。

過去の諸資料は、一応「神陵史」の編纂によってまとめられているのではないですか。未だ多数の価値ある史実・資料の解明がまたれているようですが、この新しい記録や歴史をつくって、後世に残していくことも亦意義あることでしょう。

爾来同窓生を講師とする月例の「会館のつどい」や、春秋2回の「公開講演会」などを開催して5年の年月が経ちました。この時に当り、この事業の推進を委託して来た委員会を再編し、その一部にこれらの新しい記録の「まとめ」を担当する小委員会が発足しました。

業漸くその緒につき、ここにこれらを取録する冊子を「神陵文庫」と名付けて、昭和57年9月以降、日時の古いものから順に巻を追って刊行していく事になりました。